

第 5 4 回全国国立工業大学柔剣道大会試合要領

【柔 道】

1. 試合方法

団体戦

- (1) 試合は、リーグ戦とする。
- (2) 各大学参加選手のうち 5 人をもって試合を行い、勝ち数の多い方を勝ちとする。
なお、勝ち数が同じ場合は、1 本勝ちの多い方を勝ちとする。
1 本勝ち数も同じ場合は、技有勝ちの多い方を勝ちとする。
技有勝ち数も同じ場合は引き分けとする。
- (3) 試合の判定は、「技有又は指導 2 差」以上を対象とする。
ただし、時間内に勝負が決しない場合は、引き分けとする。
- (4) 順位は、全試合の勝ち数をもって決定する。
なお、勝ち数が同じ場合は、全試合の 1 本勝ち数をもって決定する。
なおも優劣がつかない場合は、4 分間の代表戦を行い、決着がつかない場合は旗による判定を行う。
- (5) 試合時間は、4 分とする。
- (6) オーダーは、1 試合前までに係に提出すること。
- (7) オーダーは、毎試合変更しても良い。
- (8) 参加人数が 5 人に満たない場合の選手の配置については任意とする。
- (9) 組み合わせ抽選は、代表者会議で行う。

男子個人戦

- (1) 試合は、各大学 5 人、計 25 人によるトーナメント戦とする。
- (2) 試合の判定は、「技有又は指導 1 差」以上を対象とする。ただし、同点同内容の場合は僅差で判定し必ず勝敗を決める。
- (3) 試合時間は、4 分とする。
- (4) 選手名は、団体戦終了後 10 分以内に係に提出すること。
- (5) 組み合わせ抽選は、代表者会議で行う。

女子個人戦

試合方法等は、代表者会議で決定する。

2. 試合規則

国際柔道連盟試合審判規程に基づく。

※ 出場選手名簿提出後、選手に事故が生じ、出場不可能となったときは、大会前の代表者会議にその理由を付し、選手の変更を願い出た場合に限り認める。

※ 個人戦出場者は、団体戦出場者を兼ねることができる。

【剣 道】

1. 試合方法

団体戦

- (1) 試合は、リーグ戦とする。
- (2) 各大学参加選手のうち7人をもって試合を行い、勝者数の多い方を勝ちとする。
なお、勝者数が同じ場合は、総取得本数の多い方を勝ちとする。
総取得本数も同じ場合は、引き分けとする。
※チームが7人に満たない場合の特則
4人チームの場合、先鋒、中堅、副将、大将に選手を置く。
5人チームの場合、先鋒、五将、中堅、副将、大将に選手を置く。
6人チームの場合、次鋒に選手を置かない。
- (3) 順位は、全試合の勝ち数をもって決定する。
ただし、勝ち数が同数の場合は、引き分けの数により決定し、引き分けも同数の場合は、総勝者数により決定する。
総勝者数も同数の場合は、総取得本数により決定する。
なお、総取得本数も同じ場合は、1位～3位において総取得本数も同数の場合に限り、任意の選手による代表者戦を行う。
- (4) 試合は、4分3本勝負とし、勝負が決定しない場合は、引き分けとする。代表者戦は、時間無制限1本勝負で行う。
- (5) オーダーは、1試合前までに係に提出すること。
- (6) オーダーは、毎試合変更しても良い。
- (7) 組み合わせ抽選は、代表者会議で行う。

男子個人戦

- (1) 試合は、各大学6人、計30人によるトーナメント戦とする。
- (2) 試合は、4分3本勝負とし、勝負が決定しない場合は、時間制限は設けず、勝負が決定するまで行う。
- (3) 選手名は、団体戦終了後10分以内に係に提出すること。
- (4) 組み合わせ抽選は、代表者会議で行う。

女子個人戦

女子個人戦に関しては、参加人数が少数であり、さらに現在参加人数が不確定であるため、試合方法等は、試合前日に行われる代表者会議により決定する。なお、現在検討されている試合方法は、参加人数が5人以下の場合はリーグ戦、6人以上の場合はトーナメント戦とする。

2. 試合規則

全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則、同細則及び剣道試合審判運営要領及び本大会の申し合わせ事項に基づく。

※ 出場選手名簿提出後、選手に事故が生じ、出場不可能となったときは、大会前の代表者会議にその理由を付し、選手の変更を願い出た場合に限り認める。

※ 個人戦出場者は、団体戦出場者を兼ねることができる。